

西小松川小学校応援団実践報告書

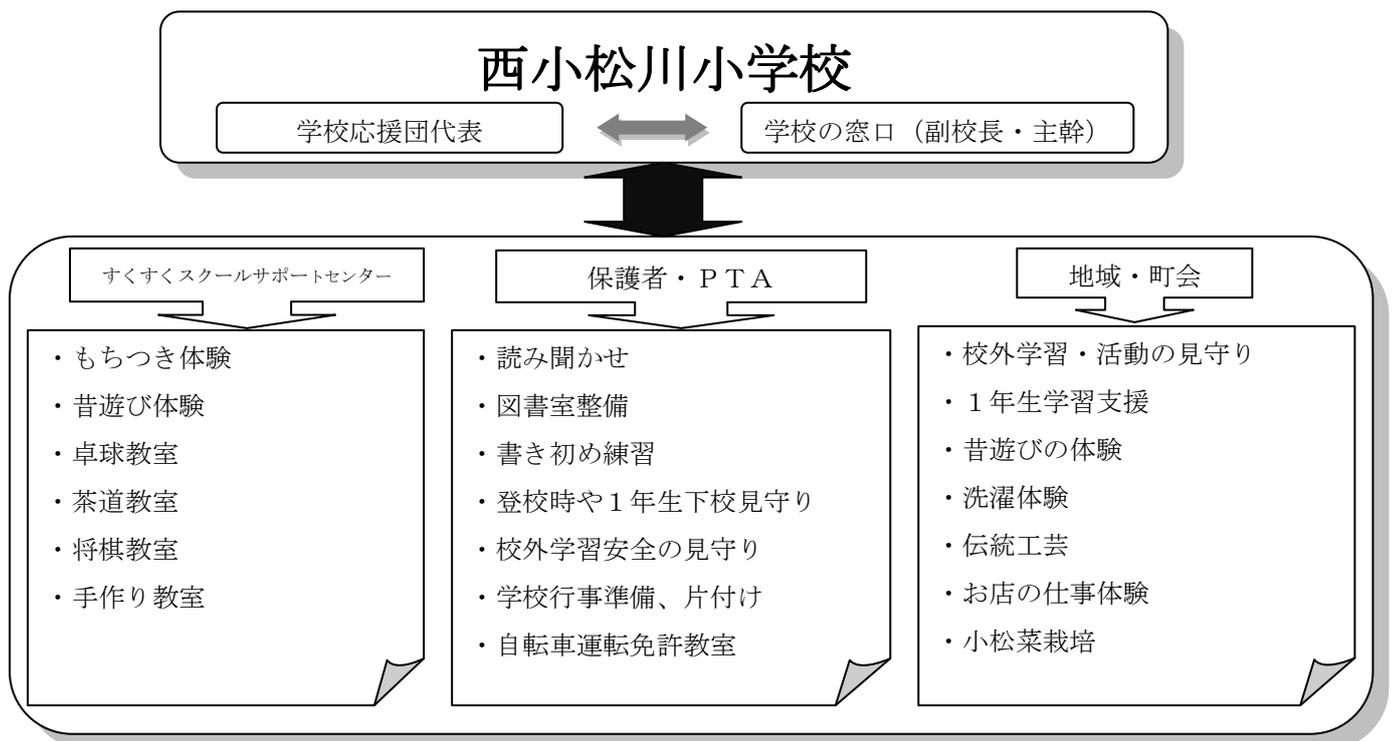
1 校長及び代表者氏名

学校長 西小松川小学校長 齊藤 涼子
 代表 学校応援団 代表 岩畑 慎一

2 今年度の活動内容

| 応援団の種類 | 応援団の名称 | 活動内容 |
|--------|---|---|
| 安全・安心 | 学校周辺清掃ボランティア 朝の交通見守りボランティア 1年生下校見守りボランティア 校外学習安全指導ボランティア | ○朝、学校周辺の清掃をしながら見守りをする。 ○朝、校門で児童の安全を見守り、挨拶を交わす。 ○4月いっぱい、1年生の下校時の見守りをする。 ○校外学習時に安全を確保し、指導の補助をする。 |
| 学習活動 | 書き初め練習支援ボランティア 伝統工芸体験支援ボランティア もちつき体験ボランティア 昔遊びの指導ボランティア 洗濯体験ボランティア 小松菜栽培指導ボランティア 1年生学習支援ボランティア お店の仕事体験ボランティア | ○書き初め指導で、担任の補助と作品の整理を行う。 ○伝統工芸である染め物の体験学習の指導をする。 ○おもちつきの正しいやり方を指導する。 ○昔の遊びの紹介と遊び方の指導をする。 ○洗濯板を使って、手洗いの体験学習の指導をする。 ○小松菜の育て方と農家の工夫の学習支援をする。 ○毎週木曜日に、1年生の学習の個別支援を行う。 ○お店の仕事の説明と、仕事の体験指導を行う。 |
| 読書活動 | 読み聞かせボランティア 図書室整備ボランティア | ○朝読書の時間に本の読み聞かせをする。 ○本の整理や修理、壁面装飾、おすすめ本の紹介をする。 |

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

それぞれのボランティアが本校の教育活動に積極的に参加し、児童の成長を見守ってくれた。特に縦割り班による全校遠足や美化活動の際は、児童の活動を見守ることに徹し、最小限の支援をすることで児童の自主性を引き出すようにしてくれた。また、ボランティア以外にも地域のお年寄りの方からの挨拶や励ましが、児童の活動意欲の向上につながっている。

読書ボランティアでは、季節感のある装飾を楽しみ、落ち着いた雰囲気の中で読書に親しむ児童が増えた。また、月1回の本の読み聞かせを楽しみにしている児童が多く、各学級で行う読書科の活動の充実につながった。昨年度から始まった、地域の商店でのお仕事体験は、活動内容がさらに充実し、学校と地域の連携をさらに深めることができた。

<課題>

熱心に学校教育活動にかかわり、応援してくださる方がいる反面、ほとんど参加したことがない方もいる。お子さんの卒業や高齢を理由として学校応援団活動を卒業する方もいるため、継続的にボランティアを確保することが課題である。そこで、学校ホームページや広報委員会だより等を通じて、ボランティアの活動の様子を紹介することを通して、ボランティアを確保していく。

5 代表より

学校応援団は、学校教育活動を少しでも充実させることを考えながら活動しています。そこで、定期的に学校応援団連絡会を行ったり、随時、学校と話し合ったりしながら活動の充実と支援の仕方について模索しています。

今年度はコーディネーターから代表という名前に変わりましたが、今まで通りに保護者や地域の方々から情報を集めながら進めてきました。その中で多くのボランティアの方々の活躍により、学校教育活動の手助けができ、子供たちの成長に協力できたことを嬉しく思います。今後も学校と保護者、地域の方を結びつけ、より充実した活動となるようにしていきたいと考えています。

6 学校長より

学校応援団の活動に、教員も触発されています。例えば、読書ボランティアの方々の読み聞かせを食い入るように聴いている子供たちを見て、教員も「子どもたちのために」と、読み聞かせビデオを作成して給食時に放送したり、読書活動の校内研修会で学んだりしたことを読書科の授業に生かし、「読書が好きな子供・読書で育つ子供」にしようとしています。

2年生で実施したお店の仕事体験は、さらに活動が充実し、子供たちにとって生きた教育になっていると共に、学校と地域のつながりを深める機会となっています。この他にも本年度は開校60周年記念行事があり、各学年のさまざまな学習活動の中で、学校応援団を生かした活動を行うことができました。60周年記念行事の一つとして取り組んだ壁画制作においても、夏休み中にもかかわらず、たくさんのボランティアの方々に見守られながら、素晴らしい作品に仕上げることができました。

今後とも学校応援団の力を活用して、さらに、学校教育活動を充実させていきたいと思っています。